

町の無料開講講座を紹介する連載コーナーです。今号は「竹工画教室」と「料理教室」を紹介します。

File.18



「作る」喜びを味わう楽しい時間

料理教室



場所 シンパシーホール 生徒数 25名(令和元年度) 開講日 第2・4木曜日 時間 19:00-21:00



1 講師と講座生の皆さんでの集合写真。
2 和食・洋食・中華、様々なパリエーションのメニューを用意しています。
3 作った料理をおしゃべりしながら食べるのも教室の醍醐味。

参加者の声

● 篠塚 登志子さん
堂園先生が開設した教室に当初から参加して28年。今はサポーターとして関わらせてもらっています。普段自宅で作る料理とは違い、教室では材料のこだわりや味付けの工夫がされていて、一味違う味を毎回楽しみにしています。

● 広瀬 勝則さん
元々そば打ちが趣味で料理をしていましたが、応用的な料理にも挑戦したいと思い、昨年から教室に参加しています。男性も料理を求められる時代です。男性の皆さん!ぜひ一緒に料理を学びましょう。

● 風見 美千代さん
料理のレパートリーを増やしたいと、今年から教室に通い始め、毎回欠かさず参加しています。料理を学ぶだけでなく、作った後の食事と会話がとても楽しいです。教室で学んだ料理を家族は家族にも好評です。

家庭の食卓をバリエーション豊かに



料理教室
講師 堂園 和子先生

全国料理学校認定の料理講師師範として40年以上境町で教室を開催しています。これまでに教室の卒業生を数多く輩出し、「五味会」というOB会も熱心に活動しており、料理の裾野が広がっていきけるように尽力しています。
教室では、現代の家庭環境に合わせ「短い時間で美味しく健康になれる料理」をコンセプトにしており、年間を通して、和食・洋食・中華を学べるメニューを用意しています。特に、料理の基礎、例えば材料の切り方や灰汁の取り方など丁寧に教えていきますので、初心者でも1年で上達を実感することが出来ます。
最近では、男性の方の参加も増えてきており、老若男女問わず皆さん賑やかに料理を楽しんでいます。
健康寿命の延伸には、「食」が何よりも重要です。ぜひ一緒に料理の腕を磨いていきましょう。

問合せ シンパシーホール ☎ 87-5858

File.17



全国でも珍しい「竹」で表現する芸術品

竹工画教室



場所 中央公民館 生徒数 20名(令和元年度) 開講日 第1・3木曜日 時間 9:30-11:30



1 講師と講座生の皆さんでの集合写真。
2 竹の焼き具合と厚みで立体的な画を表現出来るところが竹工画の魅力。
3 第25回境町生涯学習フェスティバル文化展での展示風景。

参加者の声

● 野村 光枝さん
退職後、芸術関係の講座に興味を持ち、竹工画歴10年です。先輩が製作したものを真似てみることからスタートし、自分で作りたいものが出来るようになってきました。出来た時の達成感と発表できる場があることが製作意欲に繋がっています。

● 吉澤 照さん
境町の展示会で竹工画を初めて目にした時、飛び出す立体感に感動を受けて始めました。ハサミの使い方の基本から始めて経験を積み、10年経過した頃から般若心経など繊細で難しい作品に取り組んでいます。身体が丈夫な限り続けていきたいです。

● 田沼 政男さん
先生や先輩方から技術を教わりながら竹工画を学んで6年経ちました。細かい作業が多いので、脳や手先の活性化に繋がっていると感じています。教室の雰囲気がとても和やかでとても楽しく続けられています。

茨城発祥の美術工芸を境町に広めていきたい



竹工画教室
講師 桐原 忠男先生

竹工画教室は平成9年に開講しました。5年前より先代から講師を引き継いで皆さんに指導しています。
竹工画の特長は、薄く板状に加工した竹材を使用し、元の竹色や鉄板で焦げ目を付けることで陰影を作り、バランスよく張り合わせることで、独特な立体感を表現できることです。
初めての方には、ハサミやナイフの使い方から指導します。難しいと思われるかもしれませんが、基本の月や太陽の画を覚えれば、自分の好きな作品を作れるようになります。細かい作業も多いので脳トレにも繋がります。展示会や体験会などの機会を設けており、生徒の皆さんが意欲的に製作に取り組んでいます。
とても和やかで楽しい講座ですので、ぜひ皆さんも竹工画を始めてみませんか。

問合せ 中央公民館 ☎ 81-1340